

# 伊深 まちづくり協議会だより

2020.11  
NO 82

## ●今月号の主な内容

(活動Gの動き)

- 10.27 伊深小・ほくぶ保育園の芋掘りをお手伝い …… 1
- 10.20 シニア食堂を実施しました …… 2

伊深まちづくり協議会ホームページ もご覧ください

<http://ibukamachi.com> または 検索

## ▶▶▶ 活動グループの動き ▶▶▶

### 10.27 (火)、伊深小・保育園の芋掘りをお手伝いしました

— 下町おやじの会

10.27 (火)、伊深小1・2年生、ほくぶ保育園年長・年中組によるさつま芋掘り体験があり、下町おやじの会(木澤猛代表)メンバーらがお手伝いしました。

伊深小の児童は全員軍手をはめて畑に入り、赤く伸びた根っこの周りを掘り上げていきました。中には大きく育った芋もあれば、根っこだけが育った株もあり、その違いに驚きながら掘っていました。

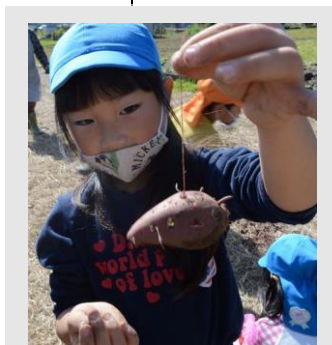
2年生の子たちは終了後、めいめいボードを手に「この取り組みはいつからやっているんですか？」などの質問をし、やりとりの内容を書き込んでいました。

一方、ほくぶ保育園の園児は全員素手で挑戦し、土と格闘しながら大小の芋を掘り上げていきました。中には細い根っこで釣りあげるように持てることに気づき、その感触を楽しんでいる子もいました。

最後に、いもづるを「リースにしてみたい」と声があがり、何人かがいもづるの葉っぱをむしり取っていくつかのリースを作り、園へ持ち帰っていました。



どんなことをやっているんですか？



いもつり できた～。



うんとこしょ、どっこらしょ。

## 10.20 (火)、シニア食堂を実施しました

— 伊深ごはん研究会

旧伊深村役場を活用する方策の一つとして、大人向けの食堂「シニア食堂」を実施しました。これはこれまで「作る」活動を進めてきた伊深ごはん研究会（井上美恵子代表）が一步広め、初めて、お客さんに有償で提供したもので、伊深産の食材を使った下記のメニューをワンコイン（500円）で提供しました。



今回は限定 30 食を用意し、栗おこわだけのテイクアウトも含めてほぼ完売となりました。

参加者からは「ていねいな味付けでおいしい」や「なっ

かしい味」といった声が聞かれたほか、取材に訪れた大手新聞社の記者からは青森の「けの汁」と比べた感想も聞かれました。

～秋のいろどり膳～

- ・栗ごろごろ 栗おこわ
- ・根菜たっぷりのお汁
- ・里芋の煮っころがし
- ・いんげんのごま和え
- ・魚（さば）の煮つけ
- ・大根と人参の煮なます
- ・お漬物



今回対応したメンバーは、作るだけでなく、接客の楽しさ、難しさも経験できたよう

で、来年度から新交流センターが稼働するのに合わせてこの食堂を定例化し、今回の経験を運営に活かしたいと話していました。



※ このイベントのようすがケーブルテレビ CCNet で放送されます。

- ・「ウィークリーみのかも」
- ・11.9 (月) ～11.15 (日)

## 新交流センター 地質調査が行われました

新交流センターは太陽光設備が追加された関係で一部設計変更となり、10.26 (月)、これに伴う地質調査が行われました。近く新センターの建築工事も始まるようです。オープンが待ち遠しいですね。



伊深まちづくり協議会だより

第82号

2020. 11. 1発行（毎月1回1日発行）

発行責任者 伊深まちづくり協議会 会長 小林 喜典

事務局 美濃加茂市伊深町 909

伊深交流センター内

電話 0574-29-1395 FAX 0574-29-0001

※ ご意見・お問い合わせもこちらまで

